背景メカニズムライブラリを活用したビジネスモデル設計方法の検討
—ビジネスCADシステム高度化に向けた背景メカニズムライブラリ構築法の研究(第２報)—

Consideration of a Method for Business Model Design by Employing Library of Business Context Mechanism
— Study on Methodology to Build-up a Library of Business Context Mechanism for Advanced Business CAD System (2) —

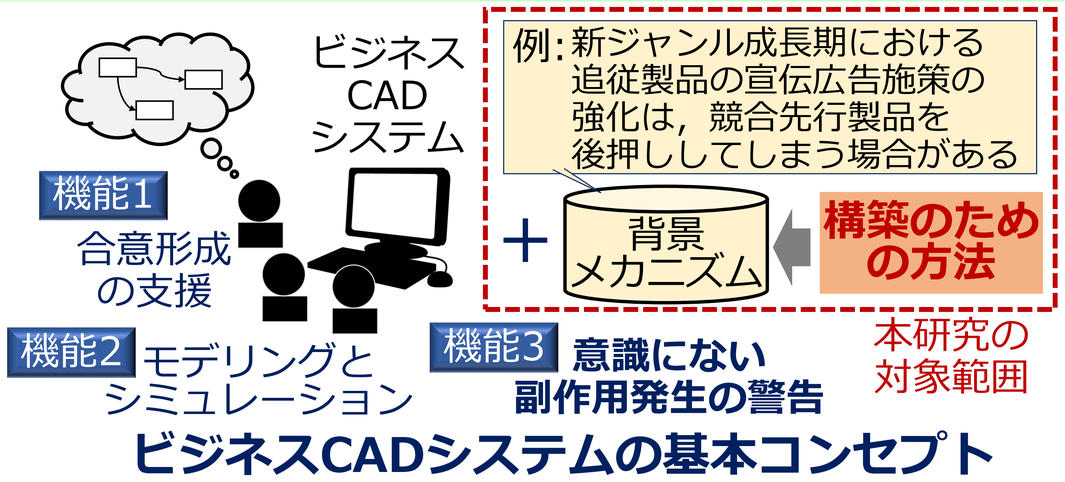
東京都市大学 TOKYO CITY UNIVERSITY

木全将介 (東京都市大学大学院)　日出間健(東京都市大学大学院)　岡田公治(東京都市大学)

1.はじめに

＊1 Computer Aided Design

ビジネス設計を支援するビジネスCAD*1システムが提案されているが，主にビジネス設計チーム内や利害関係者との合意形成の支援に留まり，意識にない副作用は扱えない．副作用に繋がる背景メカニズムをライブラリ化し活用することで副作用を警告する機能の実現が期待できると考え，前報にて背景メカニズムライブラリ構築法を提案した．
本研究ではビジネスCADシステムの基本コンセプトに基づき背景メカニズムのライブラリ構築法を再検討する.

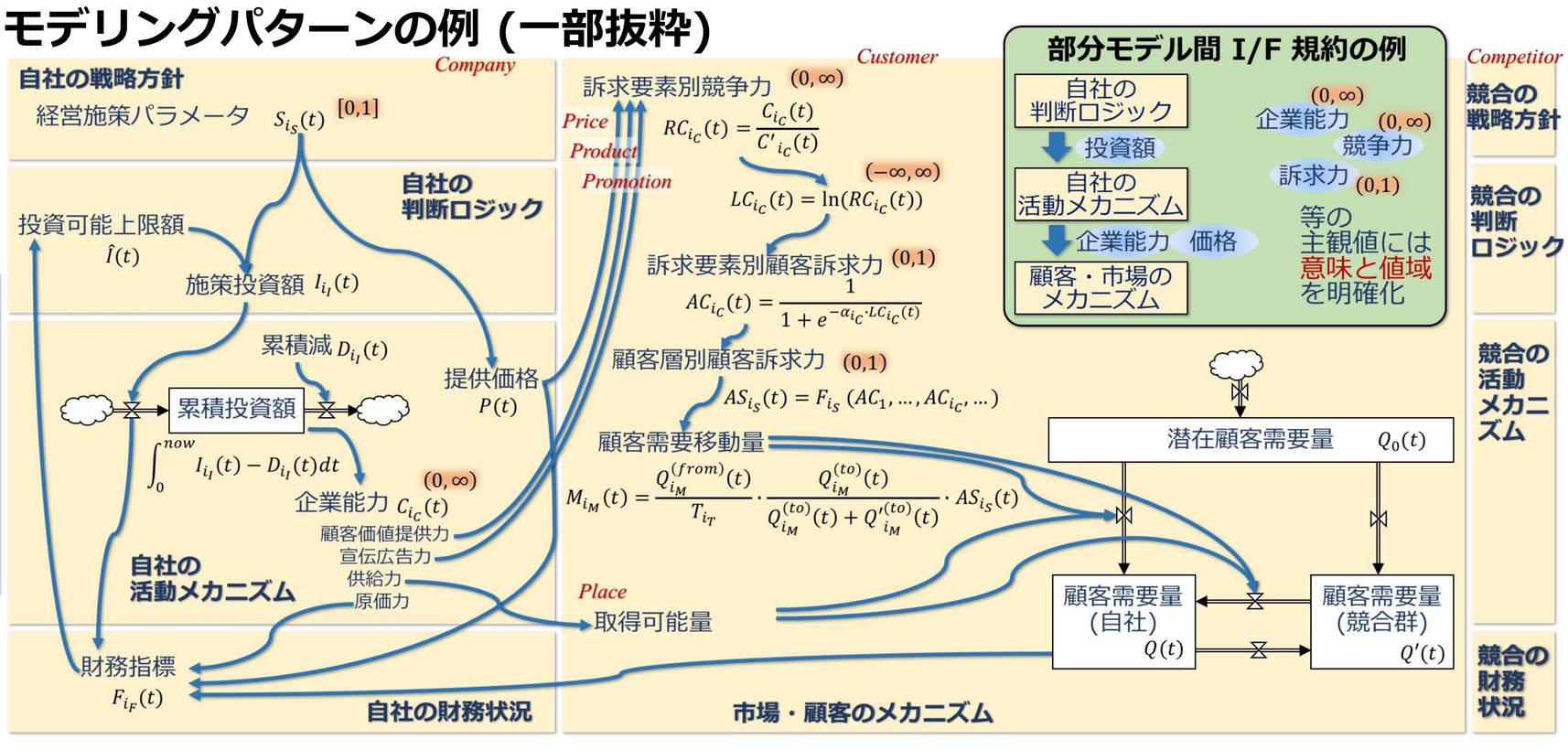


2.背景メカニズム ライブラリ構築法(前報)

前報にて，背景メカニズムライブラリ構築法として，以下の5項目を提案.

- **モデリングプロセス**の標準化
- **モデル構造**の標準化 **(モデリングフレームワーク)**
- **単一モデル複数企業実績比較方式**
- 部分モデルの**モデリングパターン化**
- **部分モデル間 I/F 規約**の整備

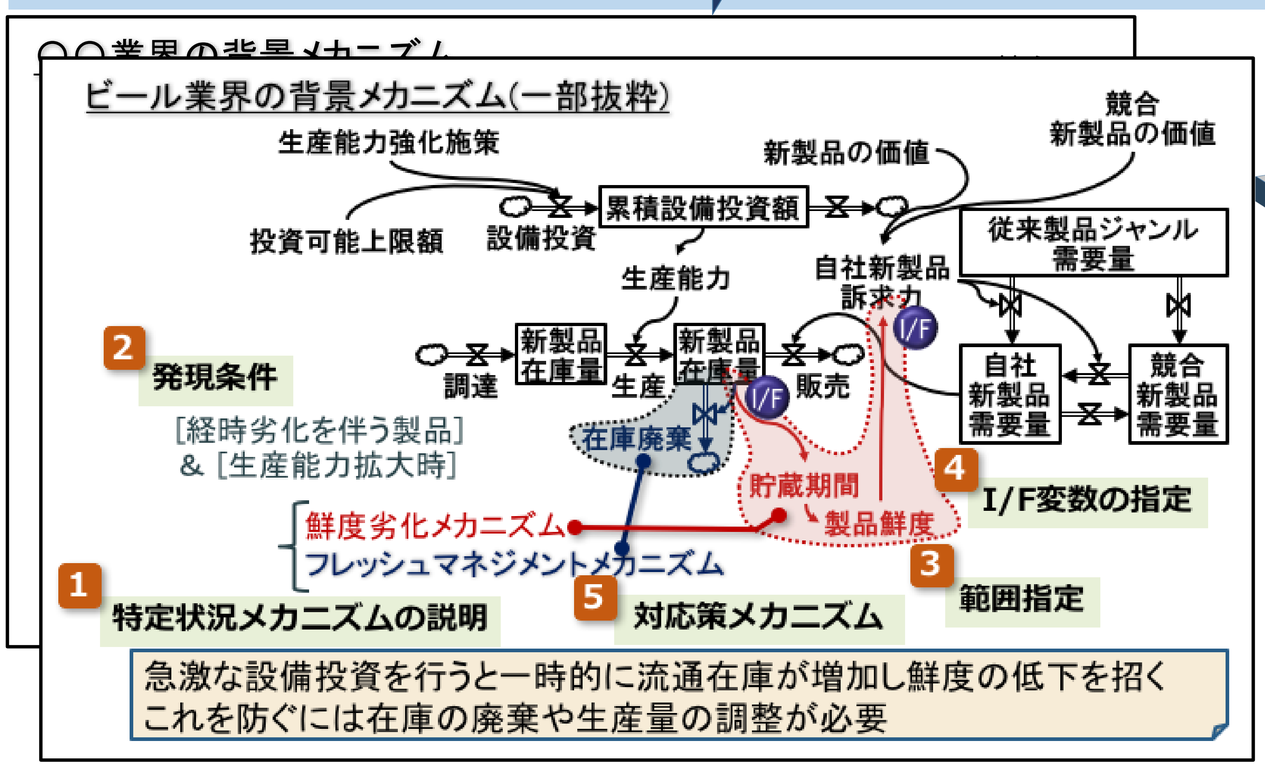
モデリングパターンの例 (一部抜粋)



3.副作用発生の警告機能

見落としがちな副作用

- **特定状況下で働くメカニズム** ➡ **特定状況メカニズム情報を追加し活用**
- 競合他社の対抗／模倣行動 ➡ 鏡像複写



背景メカニズム
ライブラリ

[発現条件]を基に
選択肢を提示

3
- ☐ 新ジャンル移行期
- ☑ 生産能力拡大時
- ☑ 既存顧客へのケアが必要
- ☐ 娯楽性の高い製品やサービス
- ☑ 経時劣化を伴う製品
- ☐ パートナーとの連携が必須

仮想事例への適用からの考察

2 競合他社について考慮できた

4 特定状況下で働くメカニズムについて考慮できた

シミュレーションを行うことでBMの評価と予期せぬ副作用の影響を**定量的に評価**できる

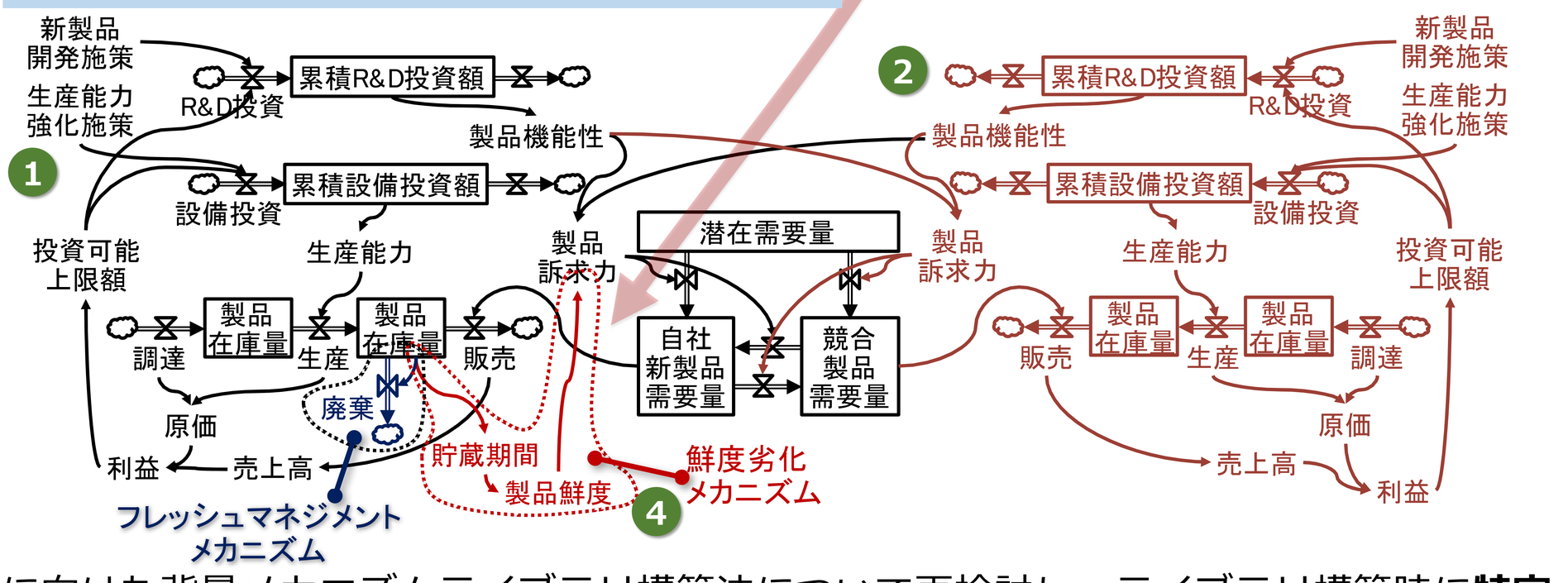
4.仮想事例への適用

ナノ粒子化技術をコア技術とする企業Xが，保存料無添加の高機能製品で化粧品業界へ参入

ビジネスモデル設計プロセス

BMC: Business Model Canvas

1. BMCの範囲でSDモデル構築
2. 鏡像複写による競合他社メカニズムの追加
3. 特定項目による特定状況メカニズムの選出
4. 提示I/F変数情報に基づくメカニズムの結合



5.おわりに

ビジネスCADシステム高度化に向けた背景メカニズムライブラリ構築法について再検討し，ライブラリ構築時に**特定状況メカニズム情報**を追加することを新たに提案した．追加情報を用いてビジネスCADシステムユーザに副作用の警告をする方法について仮想的な事例をもとに説明し**ビジネスCADシステムの実現可能性を示した**．今後の取組みとして，ビジネスCADシステムの試作を行い，アプリケーション実装が可能か検証していく必要がある．